

循環は理念ではなく構造へ

日本初のゼロウェイストスーパーを運営する株式会社斗々屋が B Corp™ 認証を取得

京都店で企業向け循環型経営視察プログラムを強化。年間 100 社規模 の企業・自治体視察受入れを目指す

株式会社斗々屋（本社：京都府京都市、代表取締役：梅田温子）は、このたび、社会や環境への高い配慮と透明性を備えた企業に与えられる国際認証「B Corporation™（通称：ビーコープ）」を取得いたしました。

斗々屋は 2021 年、日本初のゼロ・ウェイスト スーパーマーケットとして京都店を開業し、量り売り、リユース・デポジット容器、食品ロス削減、生ごみ循環などを通じて、使い捨てに頼らない店舗運営を実践してきました。

しかし私たちの目的は、単に環境配慮型の店舗を運営することではありません。

店舗を実証拠点として、サーキュラーエコノミー（循環型経済）を事業として成立させるモデルを構築し、その仕組みを企業や地域社会へ展開することを目指しています。

今回の B Corp™認証取得は、環境への取り組みだけでなく、従業員、地域社会、取引先、ガバナンスを含めた企業活動全体が国際基準で評価されたものです。

斗々屋では創業以来実践してきた事業のあり方そのものが評価され、大きな事業転換や新たな制度構築を行うことなく認証取得に至りました。

■サーキュラーエコノミーは「理念」から「実装」の時代へ

近年、世界各国でサーキュラーエコノミーへの移行が加速しています。

国連ではプラスチック汚染対策に向けた国際条約の議論が進み、欧州を中心にリユースや資源循環を促進する制度整備が進んでいます。

日本でも GX（グリーントランスフォーメーション） やサーキュラーエコノミー政策が成長戦略として位置づけられ、企業には環境課題への対応だけでなく、資源制約や経済安全保障を見据えた事業変革が求められる時代となっています。

一方で、多くの企業では、

- ・何から始めればよいかわからない
- ・社内で理解が進まない
- ・環境活動が事業成果につながらない
- ・継続できる仕組みがつかれない

といった課題を抱えています。

斗々屋は創業以来、店舗運営を通じて循環型経済を実装し、その効果や課題を検証してきました。

現在は小売業にとどまらず、企業や自治体のサーキュラーエコノミー移行を支援する事業を展開しています。

■ 京都店で企業向け循環型経営視察プログラムを強化

斗々屋ではこれまでも企業や自治体、教育機関などからの有償視察を受け入れてきました。

従来は店舗運営や量り売り、デポジット容器など個別の取り組みに関する説明が中心でしたが、B Corp™認証取得を機に、これらの実践を「循環型経営」の視点から体系的に学べる視察プログラム（有償）として再構築しました。

視察では店舗見学だけでなく、

- ・なぜその仕組みを導入したのか
- ・どのように顧客や従業員を巻き込んでいるのか
- ・どのような課題や失敗があったのか
- ・環境負荷低減と事業性をどのように両立しているのか

といった内容について、実際の運営現場を見ながら解説します。

対象は小売業に限りません。製造業、建設業、不動産業、金融機関、IT 企業、教育機関、自治体など、業種を問わず参加いただけます。

斗々屋が提供するの店舗運営ノウハウではなく、環境負荷を低減しながら事業として成立させるための「循環型ビジネスの考え方と実践プロセス」です。

京都店は完成形ではなく、循環型経済の社会実装を検証し続ける実証拠点です。

B Corp™取得を契機に、この実証拠点として蓄積してきた知見を企業や自治体、教育機関へ共有し、日本におけるサーキュラーエコノミーの実装を後押ししてまいります。

■企業向けサーキュラーエコノミー移行支援事業

斗々屋では店舗で実証してきたノウハウを活用し、企業や自治体向けに以下の事業を展開しています。

【オフィス斗々屋】

量り売りやリユースの考え方を取り入れた循環型福利厚生サービス。社員の行動変容を促しながら、サーキュラーエコノミーへの第一歩を支援します。

【Circular Water Project】

アルミボトル缶を活用し、使い捨てプラスチック削減と循環型社会への移行を支援する企業向けプロジェクトです。

【デポジット・リユース容器の社会実装】

店舗で培ったリユース容器運用の知見を活かし、企業や地域社会における循環型インフラの構築を推進しています。

【企業向け循環型経営視察プログラム】

実際に運営されている循環型店舗や仕組みを体験しながら、自社で何から始めるべきかを学ぶ実践型プログラムです。

【循環型店舗モデル・フランチャイズ事業】

量り売り、食品ロス削減、リユース容器などを組み合わせた循環型店舗モデルの展開を通じ、地域ごとの循環型経済の実装を支援しています。

=====

代表取締役 梅田温子 コメント

斗々屋は「地球一個分の暮らし」の実現を目指し、創業以来すべての事業においてサーキュラーエコノミーの実装に取り組んできました。

「目の前の食品ロスを減らしたい。」「使い捨てを減らしたい。」「生産者が持続できる仕組みをつくりたい。」

そうした日々の実践の積み重ねが、今回の **B Corp™** 認証取得につながったのだと考えています。

日本ではサーキュラーエコノミーという言葉は広がりつつありますが、実際に事業として実装されている

事例はまだ多くありません。

だからこそ私たちは、理念を語るだけでなく、実際に運用できる仕組みをつくり続けたいと考えています。

京都店はゴールではなく、社会実装のための実験場です。

ここで培った知見を企業や自治体の皆さまと共有し、日本のサーキュラーエコノミー移行を加速させていきたいと思えます。

循環は理念ではなく構造へ。斗々屋はこれからも、持続可能な社会を実現するための実装者として挑戦を続けてまいります。

=====

B Corporation™について

B Corp™は、米国の非営利団体 B Lab™が運営する国際認証制度です。

環境や社会への配慮、従業員への取り組み、地域社会との関係性、ガバナンスなど、多面的な基準に基づいて企業を評価し、一定の基準を満たした企業のみが認証を取得できます。

世界では多くの企業が取得しており、「利益と社会的価値の両立」を目指す企業の国際的な指標として注目されています。

=====

【会社概要】

会社名：株式会社斗々屋

代表者：代表取締役 梅田温子

所在地：京都府京都市

事業内容

- ・ゼロウェイストスーパーマーケット運営
- ・サーキュラーエコノミー実装支援
- ・オフィス斗々屋
- ・Circular Water Project
- ・循環型店舗モデル開発
- ・フランチャイズ事業

コーポレートサイト：<https://totoya-zerowaste.com>

【本件に関するお問い合わせ】

株式会社斗々屋 広報担当 清藤

Email：info@zerowaste.co.jp

TEL：075-221-8282

